

# DISCOVERY

SHIKOKU ZAIMU KYOKU

2025,Sept. @丸亀市

地域 に根ざし 地域 を想う企業

株式会社 OIKAZE

代表取締役相原しのぶ

■address 香川県丸亀市通町35番2号

Website https://oikaze-mg.com/



「地域活性」という言葉が流行していた頃、持続性や振り返りのない取り組みに疑問を感じた㈱OIKAZE の相原代表が、香川の地で見つけた「地域活性」の答えとは? 地域を想う相原代表の起業のきっかけや、現在の事業について取材しました。

## ~OIKAZEの名前の由来~

■OIKAZEの名前の由来を教えてください。

旅行業界で働いていた時、「地域活性」という言葉が流行していて、様々な地域でイベントやキャンペーンが次々と行われる一方で、持続性や振り返りのない取り組みも多く目の当たりにして、「地域活性」ってこういう事でいいのかな?と疑問を感じていました。

そんな中、香川県高松市にある仏生山温泉へ転職をしました。仏生山という地域は当時から「まちぐるみ旅館」という、〜街全体を旅館と見立て温泉(大浴場)や飲食店(食堂)をめぐってもらい、街の雰囲気や空間を感じてもらうとともにそこで消費が生まれる〜そうした街づくりを目指していました。

その取り組みを進めている人たちはこの仏生山という街が本当に好きだし、それを公言するんです。 「観光地ではなく、毎年少しずつでも伸びていく街にしたい」と。何となく、「地域活性」の答えが分かった ような気がしました。地域に対する人々の"まちが好き"という想いが、移住につながったりして、さらに ほかの人々に広がっていることに気づきました。

私もこの「地域を"好き" になってもらうきっかけづくりをしたい、後押しをしたい」という想いから生まれたのが OIKAZE です。

SHIKOKU DISCOVERY 2025.9 X OIKAZE

## ~OIKAZE設立と地域商社事業の歩み~

■OIKAZEの設立について教えてください。

OIKAZEは先ほどお話した私の想いをもとに2017年12月 に設立いたしました。

起業の地は、OIKAZEの想いと重なる地域商社事業の委託先を募集していた丸亀市です。

柔軟で前向きな丸亀市の行政マンの姿勢も、決断の後押し となりました。

※地域商社事業とは・・・農産品などの地域資源のブランド化や安定的・効率的なサプライチェーンによる高付加価値化を通じた市場開拓を行う取り組み。







地域商社としての2年2か月間は、地域の特産品や観光資源など地元の魅力を伝えることに力を注ぎ、コロナ禍の影響や販売条件の厳しさも感じながら首都圏への販路拡大にも挑戦しました。

また、地域に住む人や関わる人にこそ地域 資源の良さを知ってほしいと丸亀市通町商店 街にOIKAZE SHOPを開設し、地域の良い ものを地元にも届けられる場を創りました。

~OIKAZE SHOPの商品いろいろ~

事業を通じて得た経験と人とのつながりは、 OIKAZEの大きな財産となっています。 今後も、地域に根ざした活動をすること、 OIKAZEを続けていくことが、私たちの責任 であり使命だと思っています。

## ~様々な事業への挑戦~

■現在行っている事業について教えてください。

丸亀市との地域商社としての契約満了後は、卸売事業を継続しつつも、地域の魅力を地域の人にこそ伝えたいという想いから、より地域の人々と直接向き合う事業へと軸足を移し、様々な事業に取り組み始めました。

現在は、仏生山のまちやど「凪-nagi-」の宿泊事業や、地域の未来を担う人材育成にも力を入れ、高校生との探究型授業の教育事業を通じて、地域に根ざした新たな価値づくりを進めています。





■宿泊事業に取り組んだ経緯を教えてください。





学生時代から「宿をやりたい」という夢を持っていました。当時私は大学の教育学部に所属していて、イタリア料理店やとんかつ屋さんなどのサービス業でアルバイトしていました。すごく楽しかったし、アルバイトを経験する中で、人に教えることもいいけど、「人に喜んでもらうこと、人を喜ばせること」が自分の喜びだということに気づきました。

教育学部で、周囲が教師や公務員を目指す中、一般 企業への就職を選んだことから、なかなかサポートも 受けられず、自分でいろいろ調べました。

調べる中で、衣食住がつまった宿泊業はサービス業の究極だと感じましたし、旅先の宿で「自分だったらこうするのに」と感じたこともありました。そうした経験から「自分でやりたい」と強く思うようになりました。

## ~仏生山のまちやど「凪-nagi-」~

旅行業界を辞めるタイミングで一度は宿の開業を 決意した時がありました。物件も決まりかけていまし たが、直前で破談になりました。ショックは大きかっ たものの、「焦って中途半端なものをつくるより、一 度立ち止まろう」と決意し、転職先に選んだのが仏 生山温泉でした。

働くうちに、私自身も仏生山という地域を好きになり、ここで宿を開業したいと思うようになりました。



こうした中、築100年を超える古民家を活用させていただけるお話をいただき、2025年4月、仏生山のまちやど「風-nagi-」という宿泊施設をOPENさせました。地元の方の思い入れのある古民家のため、文化財の修繕なども手掛けている設計士チームと元の建物の良さを活かしつつ、過ごしやすさも考え抜いたリノベーションを行いました。地元の方たちも「以前の建物の良さが残っていてうれしい」と喜んでくれました。



建物だけでなく、内装の工夫、部屋の雰囲気、クッション、お風呂、壁、窓の鍵一つとっても全体の雰囲気と色合いが合うのか、すごく考えました。徹底して「凪」に合うものを探しましたし、今も「凪」をより良くするためにスタッフと話し合っています。



## ~若者たちの可能性を広げていきたい~

■教育事業についても教えてください。

教育事業については、文部科学省の委託事業 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」 において、学校法人穴吹学園と連携し、令和3年 から高校生向けの探究型授業にコーディネーター として関わっています。

香川県では大学進学に際し、県外へ流出する生 徒の割合が8割を超えており、その後に戻ってくる

人も少ないことが課題となっています。だからこそ、地域の良さを知り、将来活躍する人材を育てることが、 地方の未来にとって重要です。

• 授業風景

授業では、地域企業の経営者を講師に招き、リアルな経験や失敗談を共有してもらいます。学生たちは 自ら課題を設定し、情報収集・解決策の検討・実行までを体験します。これらの能力は社会の中では当た り前に求められる能力です。 学力では測れない「非認知能力(コミュニケーション力、忍耐力、課題解決 力など)」、社会で生き抜く力を育むことを目的としています。

この事業の目的は、地元に留まってもらうことではありません。 むしろ外に出て、広い世界で活躍する人になってもらいたいと思っています。「香川県出身者」が外で活躍することはうれしいことであり、地元を誇りに思うようになると考えています。

また、地域に面白い企業や人がいることを若いうちに知ってもらうことで、自分たちのロールモデルとして 捉えてもらうなど、「いつか戻ってきたい」という想い(可能性)を残したいと思っています。

「自分の人生を、自分が納得いく形で選択してほしい」そのために必要な情報や出会いを届けることで、押しつけではなく、**若者たちの「可能性」を広げていきたい**、そういう想いでこの事業に取り組んでいます。

#### ~取材を終えて~

- ◆ 作り手の方などの思いを大切にしていることや、「地域を好きになってもらうきっかけづくり」を軸に事業をされていることに感銘を受けました。また、夢や目標を諦めずに努力をされていたり、妥協せず細部までこだわっていて、私も相原代表のように強い思いをもっていろいろなことに取り組んでいきたいと思いました。(香川大学法学部U. H)
- ◆ 縁をとても大切にしていると感じました。また、作り手の方の強い思いを追い風となり繋いでいきたいという考えに感動しました。「凪」も元の雰囲気をできるだけ残しながらリノベーションし、家具や食器、雑貨など、あるものすべてに相原代表の工夫がなされていてとても魅力的な場所だと感じました。(香川大学経済学部D. M)
- ◆ 相原代表の妥協しない姿勢が一番印象的でした。OIKAZE SHOPに置く商品に関しても、作り手の思いを重視した セレクトを心がけていたり、「凪」でも一つひとつにすごくこだわっており、相原代表の仕事に対する熱意をひしひしと感 じることができたとともに、見習いたいと思いました。(香川大学経済学部H.K)
- ◆ OIKAZE SHOPでは、 地域の人々が立ち寄り やすく、贈り物の選択肢 が広がるよう工夫されて おり、「凪」では家具一つ ひとつにまで納得いくま で追求する姿勢が印象 的でした。今回の取材を 通して、自分が楽しく、 全力で取り組んでいるこ とを外部に発信すること の大切さを学ばせてい ただきました。

(香川大学法学部M.H)



◆ 4月にオープンした 「凪」は、元々の建物の 雰囲気が残されており 地域住民を招待した際 に、「改装前と印象が変 わっていなくて嬉しいが 特に印象に残りました。 取材を通して、相原代 表の人との繋がりを上が 好きだという気持ちが 強く伝わってきました。 (会計課 馬場)